# 5. 資料

# 5-1. ホームページ・受講者マイページ画面

## 1)ホームページ画面



# 不妊症・不育症の重層的な悩みに対し、 多角的な支援体制の強化が求められています。

不妊症とは、生殖年齢の男女が妊娠を希望し、ある期間性生活を行っているにもかかわらず、妊娠の成立をみ ないことをいいます。

#### 不妊症

妊娠のしやすさ(妊孕性)は、男女の年齢と共に低下するといわれています。不妊治療の技術は進歩してきている ものの、治療に伴う身体的、心理的、社会的な負担は大きく、多角的な支援が求められます。

# 不育症

不育症とは、妊娠しても流産や早産を繰り返し、生児が得られないことをいいます。 流産は、妊娠した女性の10~20%に起こるとされていますが、40歳を超えるとその頻度は急速に増加します。 子どもを亡くすということは、女性とその家族にとって大きな悲しみ、喪失体験であり、グリーフ(悲嘆)ケ

アが求められます。

わが国において不妊症・不育症の支援強化は、当事者だけの問題ではなく、社会全体で取り組むべき課題です。



# 2) 受講者マイページ画面



## ピアサポーター養成プログラム

- 1.不妊症・不育症に関する医学的知識および一般的な治療の流れ
- 1. 不妊症(女性)
- 2. 不妊症 (男性)
- 3. 不育症

方法: 講義 (動画配信) 時間: 45分(15分×3) 講師: 真壁 友子

東京大学医学部附属病院 助教

今井伸

聖隷浜松病院 リプロダクションセンター長

竹下 俊行

竹下レディスクリニック 院長 日本医科大学 名誉教授







講義資料

#### 2022年度厚生労働省補助金事業

#### 不妊症・不育症ピアサポーター等の養成研修

日ログアウト

	プサポーター養成プログラム		1		
No	<b> テーマ</b>		方法	時間	修了証
1	不妊症・不育症に関する医学的知識および一般的な治	台療の流れ	講義 (動画配信)	45分 (15分×3)	
2	不妊症・不育症に関する関連法規や支援体制		講義 (動画配信)	30分 (15分×2)	ダウンロード
3	不妊症・不育症患者が抱える特有の悩みや不安		講義★ (動画配信)	45分 (15分×3)	ダウンロード
4	里親・養子縁組制度について〜制度と現状・課題点		講義 (動画配信)	30分 (15分×2)	タウンロード
5	ピアサポート、ピアサポーターとは		講義★ (動画配信)	60分 (15分×4)	ダウンロード
5	ピアサポート、ピアサポーターとは		グループワーク (ライブ配信)	60分	ダウンロード
6	支援の実際		講義★ (動画配信)	70分 (15分×2+20分×2)	<b>資</b> 事 ダウンロード
			合計時間数	340分	

## 5-2. シラバス・講義資料

## 5-2-1. シラバス

1) ピアサポーター養成プログラム 講義内容 シラバス

# A-I:不妊症・不育症に関する医学的知識および一般的な治療の流れ

科目 A-1	不妊症・不育症に関する 医学的知識および一般 的な治療の流れ 1. 不妊症(女性) 2. 不妊症(男性) 3. 不育症	講師名	<ol> <li>1.真壁 友子 東京大学医学部付属病院 助教</li> <li>2. 今井 伸 聖隷浜松病院 リプロダクションセンター長</li> <li>3. 竹下 俊行 竹下レディスクリニック院長 日本医科大学名誉教授</li> </ol>	時間数	講義 45 分
-----------	--	-----	---	-----	------------

#### [科目目標]

・不妊症・不育症の病態、診断(検査)、治療の流れについて理解できる。

# [内容]

- 1. 不妊症(女性)(15分)
  - 1) 不妊症とは
  - 2) 不妊症の原因
  - 3) 検査と診断・治療
- 2. 不妊症 (男性) (I5分)
  - 1) 不妊症の定義について一言
  - 2) 男性不妊症の原因
  - 3) 男性不妊症の検査と診断・治療
  - 4) 男性不妊症当事者の心情
- 3. 不育症(I5分)
  - 1) 不育症とは
  - 2) 不育症の原因
  - 3) 検査と診断・治療

## [受講される皆様へのメッセージ]

1. 不妊症(女性): 真壁 友子

不妊に悩むご夫婦は増加傾向で、医療だけではなく様々なサポートの重要性が

高まっています。精神的なサポートで前向きに治療を取り組めるように、支援していきましょう。

# 2. 不妊症 (男性): 今井 伸

不妊症の原因の半分は男性にあります。男性側の検査や治療をしないままに不 妊治療を進めることは、女性側の身体的・精神的負担を増やすのみならず、金銭 的負担の増加にもつながります。「不妊治療の第一歩は夫婦そろって診察を受け ること」が常識になってほしいと思います。

#### 3. 不育症:竹下 俊行

一度でも辛い流産を繰り返す不育症の苦痛は計り知れないものがあります。ピアサポーターの支援は大きな力になるでしょう。サポートにあたり不育症の基礎知識、最新の知見を知っておくことは重要です。

# 【参考図書等】

- 1. 不妊症(女性): 真壁 友子名医が教える 妊活と不妊治療のすべて あさ出版
- 2. 不妊症 (男性): 今井 伸 参考文献はスライド資料をご参照ください。

## 3. 不育症: 竹下 俊行

- I) 「不育症管理に関する提言 2021」改訂委員会編 「不育症相談対応マニュアル」http://fuiku.jp/common/pdf/manual.pdf
- 2) 竹下俊行、藤井知行、山田秀人(編集)「不育症」 メジカルビュー社
- 3) 「不育症管理に関する提言 2021」改訂委員会編 「不育症管理に関する提言 2021」http://fuiku.jp/common/teigen001.pdf
- 4) 杉俊隆 著 「不育症学級 改訂 3 版」 金原出版
- 5) 杉浦真弓 著 「エビデンスに基づいた不育症・習慣流産の診療」金芳堂

## A-2: 不妊症・不育症に関する関連法規や支援体制

11.79	科目 A-2	不妊症・不育症に関 する関連法規や支援 体制	講師名	向 亜紀 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課 米澤 宏隆 厚生労働省 保険局医療課	時間数	講義 30 分
鈴木 里美 厚生労働省 雇用環境・均等局						

#### [科目目標]

- ・不妊症・不育症に関する関連法規や施策について理解できる。(母子保健課)
- ・不妊症・不育症に関する保険診療・先進医療について理解できる。(保険局)
- ・不妊症・不育症に関する支援体制(公的相談窓口)について理解できる。

(母子保健課)

- ・仕事と不妊治療とを両立するための支援について理解できる(雇均局)
- ・ピアサポーターに求められる役割について理解できる。(母子保健課)

## [内容]

- 1. 不妊治療等に関する関連法規や政策方針(母子保健課)(5分) 不妊治療等に関するデータ等のご紹介
- 2. 不妊治療の保険診療・先進医療について(保険局)(10分)
- 3. 性と健康の相談センター (旧: 不妊専門相談センター)、について

(母子保健課)(3分)

- 4. 仕事と不妊治療とを両立するための厚生労働省の取り組み(雇均局)(10分)
- 5. 今後の方向性(母子保健課)(2分) ピアサポーターに求められる役割

## [受講される皆様へのメッセージ]

今年度より、不妊治療が保険適用となりました。保険適用の紹介の他、現在政府 として取り組んでいる、仕事の場でのサポートや、心理的サポートなどについて紹 介させていただきます。患者さん一人一人に合わせた支援制度が活用されるよう、 架け橋となっていただけますと幸いです。

#### [参考図書等]

講義の中でご紹介します。

## A-3: 不妊症・不育症患者が抱える特有の悩みや不安

科目	不妊症・不育症患者が	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	坂上明子		講義
A-3	抱える特有の悩みや不	講師名	武蔵野大学看護学部	時間数	45 分
	· 보		教授		

## [科目目標]

- ・不妊症・不育症患者が抱える心理・社会的問題について理解できる。
- ・支援の原則と社会資源、多職種連携について理解できる。

#### [内容]

- 1. 不妊症・不育症患者が抱える心理・社会的問題(15分×2)
  - 1)女性のライフサイクルと不妊症・不育症
  - 2)不妊症・不育症患者が抱える悩みや不安
  - 3)不妊症・不育症患者が抱える社会的問題
- 2. 支援に活用できる社会資源とピアサポーターを含めた多職種連携(15分)
  - I) 医療施設における支援
  - 2) ピアサポーターとしての支援
  - 3) 地域における支援と連携

#### [受講される皆様へのメッセージ]

男女ともに結婚年齢や妊娠にチャレンジする年齢が上昇し、不妊症・不育症に悩むカップルは増えています。SDGs 持続可能な開発目標の3「すべての人に健康と福祉を」においても、「性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする」ことを目標に掲げています。不妊治療中だけでなく、そのあとにつづく家族の生活や福祉、健康を踏まえて、不妊症・不育症に悩むカップルを社会としてどのように支援していけばよいのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。

## [参考図書等]

講義の中でご紹介します。

# A-4:里親・養子縁組制度について~制度と現状・課題点

	里親・養子縁組制度		林 浩康		講義
A-4	について~制度と現	講師名	日本女子大学	時間数	
	状・課題点		人間社会学部 教授		30 分

## [科目目標]

・本邦における里親・養子縁組制度について理解できる。

## [内容]

- I. 里親・養子縁組制度の概要と現状(I5分)
- 2. 里親・養子縁組制度の概要と課題( | 5分)

## [受講される皆様へのメッセージ]

『不妊治療中の方への特別養子縁組制度・里親制度に関する情報提供の手引き』 を是非ご参照ください。

https://bit.ly/30RGwLd

## [参考図書等]

後藤絵里『産まなくても育てられます~不妊治療を超えて、特別養子縁組へ』講 談社



	ピアサポート、ピアサ ポーターとは		I. 安達 久美子 東京都立大学大学院		
科目	ルーターとは	講師名	人間健康科学研究科教授	時間数	講義 60 分
A-5	1. ピアサポート、ピア	神師石		可則釵	60 <del>2</del>
	サポーターとは		2. 島 大貴		
	2. 企業等での支援		日本航空株式会社		

#### [科目目標]

- ・ピアサポート、ピアサポーターについて理解できる。
- ・基本的な傾聴のスキルについて理解できる。
- ・企業における実践をとおして、具体的な支援、職場の課題をイメージすることができる。

#### [内容]

#### 【講義】

- 1. ピアサポート、ピアサポーターとは何か(15分)
  - 1) ピアとはなにか
    - ●広義のピア
    - ●狭義のピア
    - ●ピアサポートの必要性と意義
  - 2) ピアサポートを行う場合の基本的な向き合い方(15分)
  - 3)積極的傾聴のスキル(15分)
    - ●積極的傾聴8つのポイント
- 2. 企業等での支援(15分)
  - ●日本航空における社員への支援策について

## 「受講される皆様へのメッセージ]

1. ピアサポート、ピアサポーターとは:安達 久美子

ピアサポートについての基本的な概念やスキルについて理解いただき、実際の支援についてシンポジストの方々からお話をお伺いします。ピアサポートの具体的なイメージを持っていただければと思います。

#### 2. 企業等での支援:島 大貴

社員の約半数を占める女性社員がライフイベントと仕事を両立し、就業を継続できる環境を創ることは急務であり、Diversity & Inclusion を進めるうえでも不可欠です。女性社員が不安なく不妊治療にあたることができるよう企業が積極的に支援することは、社会全体で男女を問わず積極的にライフイベントに向き合うことが

でき、就業を継続できる環境づくりへとつながります。そのような環境づくりに向けて、受講される皆様とともに今後も取り組みを進めていくことができれば幸いです。

## 【参考図書】

- I. ピアサポート、ピアサポーターとは:安達 久美子 講義の中で提示します。
- 2. 企業等での支援:島 大貴

なし。

# A-5:ピアサポート、ピアサポーターとは<A-5-3>

科目 A-5	ピアサポート、ピアサ ポーターとは 3. 傾聴スキルの実際	講師名	安達 久美子 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科教授	時間数	GW 60分
-----------	-------------------------------------	-----	------------------------------------	-----	-----------

## [科目目標]

・GW を通して、傾聴スキルのポイントが理解できる。

## [内容]

#### [GW]

- 3. 傾聴スキルの実際(60分)
  - I) GW オリエンテーション・アイスブレイク
  - 2) 積極的傾聴のロールプレイ

## [受講される皆様へのメッセージ]

ピアサポートについての基本的な概念やスキルについて理解いただき、実際の支援についてシンポジストの方々からお話をお伺いします。ピアサポートの具体的なイメージを持っていただければと思います。

## 【参考図書】

講義の中で提示します。



## A-6:支援の実際

科目 A-6	支援の実際 1. 自助グループ活動 の実際 2. グリーフケア 1) グリーフケア 2) 周産期喪失を経験した当事者の体験から考えるグリーフケア 3. 養子縁組制度と 支援の実際	講師名	1. 近藤 裕子 大阪府男女共同参画推進財団 相談事務局  2-1) 石井 慶子 聖路加国際大学客員研究員  2-2) 大竹 麻美 遠藤 佑子 周産期グリーフケア はちどりプロジェクト  3. 小川 多鶴 アクロスジャパン 代表理事	時間数	講義 70 分
-----------	---	-----	--	-----	---------

## [科目目標]

- ・ピアサポートの実際の活動について理解できる。
- ・グリーフケアについて理解できる。
- ・養子縁組支援について理解できる。

## 【内容】

- I. ピアサポートの自助グループ活動の実際(I5分)
  - I)事業目的・事業内容
  - 2) 参加者の様子・感想等
  - 3) 今後の課題
- 2. グリーフケア
  - 1) グリーフケア(20分)
    - (1) グリーフケアとは何か
    - (2) 流産・死産・人工死産・新生児死のグリーフケアとピアサポート
    - (3) 不妊治療・不育症治療・周産期喪失のグリーフに関わるピアの課題「適切な支え」となるために
  - 2) 周産期喪失を経験した当事者の体験から考えるグリーフケア(20分)
    - (1) 団体紹介
    - (2) ~当事者が行う、家族への支援体制に関する実態調査~「赤ちゃんとお別れしたお母さん・お父さんへのアンケート」へ届けられた当事者の声から考える支援の

在り方

3. 養子縁組の支援の実際(15分)

養子縁組制度とその情報提供

#### 「受講される皆さまへのメッセージ]

1. 自助グループ活動の実際:近藤裕子

不妊であることは自分の一部であって全てではありません。しかしセンターで出会う多くの方々は、不妊であることだけでご自身を全否定し責めておられます。どんなに頑張っても結果が出ないこともある不妊治療。不妊であることも含め"大切な自分"と思ってもらえるようにサポートしていくことが必要だと思っています。

## 2. グリーフケア

1) グリーフケア:石井慶子

さまざまな喪失を体験してきた人々を支えるために、グリーフとグリーフケアに ついての基礎的なことをご紹介します。ピアサポートをしていくうえで、直面しう る難しさについてもお伝えしていきます。

2) 周産期喪失を経験した当事者の体験から考えるグリーフケア

:周産期グリーフケア はちどりプロジェクト

周産期喪失後のグリーフケアは、不妊症・不育症患者に限定された課題ではありません。しかし不妊症・不育症を受けるカップルへの支援においても、流産・死産を経験した際に直面する重要な支援であり、その関わりが対象者のその後の人生に大きな影響を与えます。

大切なわが子とお別れしたお母さん・お父さんがどのような悲しみを経験し、どんな思いでいらっしゃるのかを知っておくことで、無意識に相手を傷つけることを未然に防ぐことができます。また知識レベルでの学習よりも、さらに深い次元での対象理解につながると私たちは信じています。本当の意味で相手の気持ちを受け止める「傾聴」の技術はグリーフケアに欠かせない基本的姿勢であり、当事者の声に耳を傾けるところから、真の寄り添い支援について受講者のみなさんとともに考える時間になればと願っています。

3. 養子縁組制度と支援の実際:小川 多鶴

特別養子縁組制度への理解を深め、適切な情報提供の在り方を知る

#### 【参考図書等】

1. 自助グループ活動の実際:近藤裕子

(一財)大阪府男女共同参画推進財団発行「相談現場から見える現代社会と女性 センターの役割」

- 2. グリーフケア
  - I)グリーフケア:石井慶子 講義の中でご紹介します。
  - 2) 周産期喪失を経験した当事者の体験から考えるグリーフケア

:周産期グリーフケア はちどりプロジェクト

令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「子どもを亡くした家族へのグリーフケアに関する調査研究」各種手引き

URL https://cancerscan.jp/news/III5/

3. 養子縁組制度と支援の実際:小川 多鶴

「うまなくても育てられます」(講談社)後藤絵里

## 2) 医療従事者プログラム 講義内容 シラバス

## B-1. 不妊症・不育症に関する医学的知識および一般的な治療の流れ

科目 B- I	不妊症・不育症に 関する医学的知識 および一般的な治療の流れ 1. 不妊症(女性) 2. 不妊症(男性) 3. 不育症	講師名	1. 真壁 友子         東京大学医学部付属病院助教         2. 今井 伸         聖隷浜松病院         リプロダクションセンター長         3. 竹下 俊行         竹下レディスクリニック 院長         日本医科大学 名誉教授	時間数	講義 45分
------------	--	-----	---	-----	-----------

## [科目目標]

・不妊症・不育症の病態、診断(検査)、治療の流れについて理解できる。

#### [内容]

- I. 不妊症(女性)(I5分)
- 1) 不妊症とは
- 2) 不妊症の原因
- 3) 検査と診断・治療
- 2. 不妊症 (男性) (I5分)
  - 1) 不妊症の定義について一言
  - 2) 男性不妊症の原因
  - 3) 男性不妊症の検査と診断・治療
  - 4) 男性不妊症当事者の心情
- 3. 不育症(15分)
  - 1) 不育症とは
  - 2) 不育症の原因
  - 3) 検査と診断・治療

# [受講される皆様へのメッセージ]

1. 不妊症(女性): 真壁 友子

生殖補助医療を含めた不妊治療が保険適用となり、患者さんの治療の選択肢が増えました。ますます正確な情報提供や、患者さんごとの適切な治療の選択が重要と

考えています。

2. 不妊症 (男性): 今井 伸

治療を受ける立場から言えば、低侵襲かつ経済的負担の少ない方法で挙児が得られることが理想だと思います。男性側の検査や治療をしないままに不妊治療の step up を勧めていませんか。男性不妊の検査や治療を行うことは、女性側の身体的・精神的負担を減らすだけでなく、金銭的負担の軽減にもつながる可能性があります。いま一度、不妊症の原因の半分は男性にあるということを認識していただきたいと思います。

3. 不育症:竹下 俊行

インターネットの普及により専門的な知識も簡単に手に入るようになりました。 しかし、ネットの情報は玉石混淆です。ピアサポーターとして正しい知識を身につ けましょう。

## 【参考図書等】

- 1. 不妊症(女性): 真壁 友子図説よくわかる臨床不妊症学 中外医学社
- 2. 不妊症 (男性): 今井 伸 参考文献はスライド資料をご参照ください。
- 3. 不育症:竹下 俊行
- I)「不育症管理に関する提言 2021」改訂委員会編 「不育症相談対応マニュアル」http://fuiku.jp/common/pdf/manual.pdf
- 2)竹下俊行、藤井知行、山田秀人(編集)「不育症」 メジカルビュー社
- 3)「不育症管理に関する提言 2021」改訂委員会編 「不育症管理に関する提言 2021」http://fuiku.jp/common/teigen001.pdf
- 4)杉俊隆 著 「不育症学級 改訂 3 版」 金原出版
- 5)杉浦真弓 著 「エビデンスに基づいた不育症・習慣流産の診療」金芳堂

## B-2. 不妊症・不育症に関する関連法規や支援体制

科目 B-2	不妊症・不育症に関 する関連法規や支援 体制	講師名	向 亜紀 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課  米澤 宏隆 厚生労働省 保険局医療課  鈴木 里美 厚生労働省 雇用環境・均等局	時間数	講義 30 分
-----------	------------------------------	-----	--	-----	---------

## 「科目目標」

- ・不妊症・不育症に関する関連法規や施策について理解できる。(母子保健課)
- ・不妊症・不育症に関する保険診療・先進医療について理解できる。(保険局)
- ・不妊症・不育症に関する支援体制(公的相談窓口)について理解できる。

(母子保健課)

- ・仕事と不妊治療とを両立するための支援について理解できる(雇均局)
- ・ピアサポーターに求められる役割について理解できる。(母子保健課)

#### [内容]

- 1. 不妊治療等に関する関連法規や政策方針(母子保健課)(5分) 不妊治療等に関するデータ等のご紹介
- 2. 不妊治療の保険診療・先進医療について(保険局)(10分)
- 3. 性と健康の相談センター(旧:不妊専門相談センター)について

(母子保健課)(3分)

- 4. 仕事と不妊治療とを両立するための厚生労働省の取り組み(雇均局)(10分)
- 5. 今後の方向性(母子保健課)(2分) ピアサポーターに求められる役割

## 「受講される皆様へのメッセージ]

今年度より、不妊治療が保険適用となりました。保険適用の紹介の他、現在政府 として取り組んでいる、仕事の場でのサポートや、心理的サポートなどについて紹 介させていただきます。患者さん一人一人に合わせた支援制度が活用されるよう、 架け橋となっていただけますと幸いです。

# [参考図書等]

講義の中でご紹介します。

## B-3. 不妊症・不育症患者特有の心理・社会的支援

	妊症・不育症患者特 の心理・社会的支援	講師名	森 明子 湘南鎌倉医療大学大学院 研究科長	時間数	講義 45 分
--	------------------------	-----	-----------------------------	-----	---------

#### [科目目標]

- ・不妊症・不育症患者が抱える心理・社会的問題と心理的支援について理解する ことができる。
- ・支援に活用できる社会資源と多職種連携、ピアサポートについて理解すること ができる。

#### [内容]

- 1. 不妊症・不育症患者が抱える心理・社会的問題(15分)
  - 1) 女性のライフサイクルと不妊症・不育症
  - 2) 不妊症・不育症患者の心理的問題
    - (I) 不妊症患者の心理
    - (2) 不育症患者の心理
  - 3) 不妊症・不育症患者が抱える社会的問題
- 2. 不妊症・不育症患者の心理的支援(15分)
  - 1) 心理的支援の方法など
  - 2) 心理的支援の実際
- 3. 支援に活用できる社会資源と多職種連携、ピアサポート(15分)
  - 1) 支援に活用できる社会資源
    - (1) 医療施設における支援
    - (2) 地域における支援
  - 2) 支援に関わる多職種連携
    - (3) 主に関わる職種(資格)と特徴
    - (4) 多職種連携の実際
  - 3) 医療職とピアサポーター

## 「受講される皆様へのメッセージ]

不育症の経過から不妊症に移行したり、不妊症治療を経て不育症に至る方がいらっしゃることもあり、不妊症と不育症は一緒に扱われることが多いのですが、患者 さんは一人ひとり異なる固有の体験をしていらっしゃいます。それを忘れずに支援 に関心を寄せていただけたら嬉しいです。

#### [参考図書等]

講義の中でご紹介します。

# B-4. 里親·養子縁組制度

科目 B-4	里親・養子縁組制度 I. 概要と現状・課題点 2. 支援の実際	講師名	1. 林 浩康 日本女子大学 人間社会学部 教授 2. 田中 泰雅 医療法人社団諍友会 田中病院 院長	時間数	講義 60 分
-----------	---------------------------------------	-----	---	-----	---------

#### [科目目標]

- ・本邦における里親・養子縁組制度について理解できる。
- ・里親・養子縁組制度における医療者の役割について理解できる。
- ・里親・特別養子縁組を希望するカップルへの支援の実際が理解できる。

## [内容]

- 1. 概要と現状・課題点
  - I) 本邦における里親・養子縁組制度について(I5分)
    - 里親・養子縁組制度の概要と現状
  - 2) 里親・養子縁組制度における医療者の役割について(15分)
    - 里親・養子縁組制度において医療職に求めるもの

## 2. 支援の実際

- I) 里親・特別養子縁組を希望するカップルの心理や相談内容、ニーズ(I5分)
- 2) 里親・特別養子縁組を希望するカップルへの意思決定支援、親になるための 支援の実際(15分)

#### [受講される皆様へのメッセージ]

1. 里親・養子縁組制度と現状、課題:林 浩康

『不妊治療中の方への特別養子縁組制度・里親制度に関する情報提供の手引き』 を是非ご参照ください。

https://bit.ly/30RGwLd

2. 支援の実際:田中 泰雅

不妊治療も特別養子縁組も産婦人科医療の大切な選択肢です。家族を迎えるという意味においてはどちらも同じ大切な選択肢です。ひとりでも多くの方にご理解いただき興味を持っていただければと存じます。

#### [参考図書等]

1. 概要と現状・課題:林 浩康

後藤絵里『産まなくても育てられます~不妊治療を超えて、特別養子縁組へ』講談

社

2. 支援の実際:田中 泰雅

①子どものいない夫婦のための養子縁組ガイド 制度の仕組みから真実告知まで 吉田 奈穂子 (著)

②子どものいない夫婦のための里親ガイド 吉田 奈穂子 (著)



科目 B-5	グリーフケア  1. グリーフケア  2. 周産期喪失を経験し た当事者の体験から 考えるグリーフケア	講師名	<ul> <li>1.</li> <li>石井 慶子</li> <li>聖路加国際大学 客員研究員</li> <li>2.</li> <li>大竹 麻美</li> <li>遠藤 佑子</li> <li>周産期グリーフケア</li> <li>はちどりプロジェクト</li> </ul>	時間数	講義 50 分
-----------	---	-----	---	-----	------------

## [科目目標]

- ・グリーフケアについて理解できる。
- ・不妊治療や不育症治療などでのグリーフを経験した女性とパートナーの特徴を理解できる。
- ・不妊治療後の妊娠において周産期喪失を体験した女性とパートナーおよびその家族への支援を理解できる。

#### [内容]

- 1. グリーフケア(30分)
  - 1) グリーフケアとはなにか
  - 2) 不妊治療・不育症治療に関連するグリーフ
    - 流産・死産・人工死産・新生児死のグリーフケア
    - 不妊治療中や不育治療中のグリーフ
    - 周産期喪失を体験した女性とパートナーおよびその家族への支援
    - 周産期喪失を体験者が次の妊娠を望む場合の支援
    - 次の妊娠・出産を終えた後の支援
- 2. 周産期喪失を経験した当事者の体験から考えるグリーフケア(20分)
  - 1) 団体紹介
- 2) ~当事者が行う、家族への支援体制に関する実態調査~「赤ちゃんとお別れしたお母さん・お父さんへのアンケート」へ届けられた当事者の声から考える支援の在り方

## 「受講される皆様へのメッセージ]

1.グリーフケア:石井 慶子

不妊治療や不育症治療を通じて、患者さんたちは、さまざまなグリーフを経験しています。そのグリーフのケアの糸口となるようなことをお伝えしたいです。次の 妊娠出産を経た後の医療の場から支えについても考えていきたいです。

## 2. 周産期喪失を経験した当事者の体験から考えるグリーフケア

:周産期グリーフケア はちどりプロジェクト

周産期喪失後のグリーフケアは、不妊症・不育症患者に限定された課題ではありません。しかし不妊症・不育症を受けるカップルへの支援においても、流産・死産を経験した際に直面する重要な支援であり、その関わりが対象者のその後の人生に大きな影響を与えます。

大切なわが子とお別れしたお母さん・お父さんがどのような悲しみを経験し、どんな思いでいらっしゃるのかを知っておくことで、無意識に相手を傷つけることを未然に防ぐことができます。また知識レベルでの学習よりも、さらに深い次元での対象理解につながると私たちは信じています。本当の意味で相手の気持ちを受け止める「傾聴」の技術はグリーフケアに欠かせない基本的姿勢であり、当事者の声に耳を傾けるところから、真の寄り添い支援について受講者のみなさんとともに考える時間になればと願っています。

## [参考図書等]

- 1.グリーフケア:石井 慶子 講義の中でご紹介します。
- 2. 周産期喪失を経験した当事者の体験から考えるグリーフケア

:周産期グリーフケア はちどりプロジェクト

令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「子どもを亡くした家族へのグリーフケアに関する調査研究」各種手引き URL

https://cancerscan.jp/news/III5/

# B-6. 支援プログラム案の作成

4N FI	支援プログラム		安達久美子		グループ	
		案の作成	講師名	東京都立大学大学院	11-72-1	ワーク
	B-0			人間健康科学研究科教授		120分

#### [科目目標]

- ・自ら抱える現場での課題を明らかにする。
- ・不妊症・不育症の支援における課題について明らかにする。
- ・上記の課題を共有したうえで、今後求められる支援プログラムを作成する。

[内容] 進め方の詳しい内容は配布資料を確認してください。

- 1. 支援にあたっての課題抽出
- ●オリエンテーション(10分)

#### ●GWI:

- ・自己紹介:お名前、ご職業、これまでの不妊症・不育症の支援の有無や内容 自らが抱える現場での課題、自治体における課題、不妊症・不育症に関する社会 の認識などについてお話ください。おひとり2分程度(合計 15 分程度)
- ・不妊症・不育症の支援における課題について検討する。(30分)
- 2. 支援プログラム案の作成

#### •GW2:

GWIで出された課題を土台として、具体な支援プログラム案を作成する。

- ・課題から考える支援プログラム作成テーマの抽出(10分)
- ・支援プログラムの検討:(25分)

#### ●発表:

グループワーク終了後に全体の中から 2~3 グループの方に、作成した支援プログラムについて発表を 5 分程度でしていただきます。書記が資料を画面共有しますので、司会役となられた方は、発表をお願いいたします。(20 分)

●まとめ:全体のまとめ(5分)

## [受講される皆様へのメッセージ]

医療者として、効果的な支援を行うにあたって、現在感じている様々な課題や問題について様々な考えや立場からの意見交換をしていただきたいと思います。その中から新たな発見や、支援の方向性のヒントが見つかることを期待します。

#### [参考図書等]

講義の中でご紹介します